



Subaru

ニュース766 '21.11.6

男声合唱団

10月29・31日
11月5日

「昂」定例レッスン開催！10月11月続く 「春のメドレー」「いのちの歌」「日々草」「U Boj!」 の4曲と「昂」「昂をうたう」「母なるヴォルガ」！

□10月23日(土)に「2021年総会」を開催し、活動方針を議論し、団活動も順調に動き出しました。昂は10月第4回・第5回、11月第1週目の定例レッスンを連続して、ねむかホールで開催しました。

10月29日(金)の定例レッスンは18:00～20:30 参加者は、全21名、内、団員19名(T1:7名、T2:4名、BR:5名 BS:3名)、

10月31日(日)は14:00～17:00 参加者は、全24名、内、団員22名(T1:8名、T2:3名、BR:7名 BS:4名) ピアノ伴奏は両日とも、森二三さん。

11月5日(金)は18:00～20:30 参加者は、全27名、内、団員25名(T1:8名、T2:5、BR:6名 BS:6名)、ピアノ伴奏は門万沙子さんでした。



□29日(金)は、吉田さんの体操、千秋さんの発声練習のあと、

本並先生の指揮で、「春のメドレー」の「どじょっこ ふなっこ」から始まりました。

「はるになれば すがもとけて」：「なれば」「とけて」の表現がまだ曖昧！スタッカート、スラー(レガート)の歌い方で。「すがこ」：はっきりと発音して。

「ふなっこだの」の「**の**」に「フェルマータ」つけて、指揮を見る！「よるがあけた」とすぐ行かない！低音部は早くメロディ覚えて！正しい音程で歌うこと！

「春の小川」は、輪唱(カノン)、単純な輪唱。やさしい音譜の続き。春らしい情景描写をして歌おう！低音部は高音部に“負けないで”、しっかり歌ってほしい！早く覚えて！一度練習したことは忘れないで！と。

今日の「春のメドレー」は「どこかで春が」から一度歌い、「春の小川」までで終わりました。

続いて、伊藤副指揮者の指揮で、「いのちの歌」をレッスンしました。

各パートの一つ一つの音程、言葉の表現、言葉の抑揚、強弱、ふくらみなどを大事に！丁寧に合わせて

いきました。今日は 55 小節「Ah-」まで歌いました。

休憩をはさんで、立川事務局長から、報告・連絡があり、大島さんから、「団内コンサート」の開催についての連絡・報告がありました。

続いて、伊藤さんの指揮で、「U Boj!」を、最後に本並先生の指揮で、「日々草」と「昂」をレッスンして終わりました。

（「U Boj!」について、できるだけ暗譜するくらいまで覚えてほしい。楽譜持ってよし、しかし、「安心のために、一瞬見る」程度で、指揮見て歌ってほしい！最初 1 頁目が勝負！遅れないで、指揮よく見て！合わせていこう！！）

（連絡・報告事項）

（1）仲谷さんが久しぶりにレッスンに参加されました。レッスンに参加するよう努力したい、広島祭典に参加すること等、体調についても近況報告されました。

（2）立川さんから、報告事項として、

①10 月 23 日総会が開催され、今後の昂の活動方針も検討されました。詳細な「議事録」を更家さんに作っていただき、閲覧可能です。

②広島合唱発表会、20 名の参加、「U Boj!」を目新しい演奏・リズムカルで、軽快、明るい声で！「日々草」で歌いこんだ男声合唱の魅力を！

③10 月 24 日「核禁条約締結の集い」があり、関西合唱団が中心にうたごえも参加した報告がありました。

④団財政の窮状について、総会で財務部長から詳細な報告があり、「カンパの訴え」に応じていこうと協力の依頼がありました。

（3）伊藤さんから、広島祭典・合唱発表会についてのコロナ対策は、まだ公表されていないが、不織布マスクをつけての合発を想定し、レッスン時にマスクをつけて歌うことに慣れてほしい、との指揮者からの要請がありました。



□ 3 1 日(日)の定例レッスンは、立川さんの体操、本並先生の発声練習のあと、本並先生の指揮で、「春のメドレー」から始まりました。

今日は、後半部の「花の街」「春の唄」「花のまわりで」のレッスンとなりました。

「花の街」♪ = 1 0 8 やや速く

低音部：正しい音程で 「なないろのたにをーこえてー」：「こえてー」の「え」の音程正しく。
「かぜのリーボーン」

78小節「わになって わになってかけていったよー」

：「わになって」mpで：「かけていったよー」クレッシェンドで、しっかり延ばして。

「はるよはるよとー」mfで、呼びかけるように！ 「かけていったよー」：「いったよー」dimのど声にならないで！

「春の唄」♪=112~114 より速く

「ラ ラ ラ」：fでゆっくりと、気分浮き立つように、乱暴に歌わないで。

「ラー」：「ラー」地声出さない。上へ「ラァォ ラァォ ラァォ」と、響きは落とさずに、明るさを保つこと！

この曲も、指揮をよく見て、声を合わせることに。遅れ気味！

「花のまわりで」

「はなのまわりで」：「はなの」きれいに「はな」を発音。

「まわりで」：「まわりで」テンポ正しく

「とりがまわる」：「まわる」軽やかに。「わ」強くうたわない。

低音部：118小節「かーぜがまわる まわる」音程正しく！

122小節から高音部・低音部「まわれまわれ 以下最後まで」：アクセント、スタッカートに注意して。軽やかに、歯切れよく！

休憩時間・部屋の通風をおこない、連絡報告がありました。

引き続き、伊藤副指揮者の指揮で「いのちの歌」をレッスンしました。

再度の休憩後、合唱発表会曲「日々草」を本並先生の指揮で、「U Boji」を伊藤副指揮者の指揮で、本番を想定して、そして最後に本並先生の指揮で、「昴はうたう」と「昴」を歌い今日のレッスンを終えました。

連絡・報告事項

- (1) 立川さんから、総会議事録を読んでほしいこと、広島祭典への参加、13回演奏会に向けて、レッスン休まず頑張りましょう！
- (2) 広島祭典に「歌って参加」される昴メンバー、男声合同：千秋・山本(宏)さん、混声合同：伊藤、更家、光本、吉岡さん。大阪での合同レッスンに参加されていることの報告がありました。

□11月5日(金)の定例レッスンは、奥村さんの体操、千秋さんの発声練習のあと、今日も、本並先生の指揮で、「春のメドレー」から始めました。

まず、「はなのまわりで」を、メロディ、音の高さを確認して、遅れないで、明るく、スタッカートを入れて、繰り返し合わせました。

通しで最初から歌い、指揮者のアドバイスがありました。

「どじょっこふなっこ」「春の小川」はテンポ同じ。「春の小川」はさらさら流して！もたもた流れている！

“うたごころ”出して、少々はみ出しても良い。もう少し楽しく歌って！

この曲は、これからは毎回のレッスンで、通しで歌っていきます。」

引き続き、「日々草」を歌いました。44小節「にくんだり あいしたりー」の合わせ方、音程の確認をしました。



また、本並先生から、加羽澤美濃作曲を曲を本並美德編曲になった経緯、テナーで「日々草」を歌っている畑儀文さんとの若かりし頃のコンサートの合唱での出会いについて、語られました。

休憩をはさんで、連絡報告があり、11月に入り、寺脇さんが復帰され、また山口、木越、向井さんと日曜日出席の団員が参加され、レッスンも活気づいてきました。

引き続き、伊藤副指揮者の指揮で、「U Boj!」のレッスンが進みました。「広島祭典・合唱発表会」の「日々草」に続く2曲目、レッスンはあと2回(11月19日と21日)、日うた参加者が前列、不参加者が後列に立って、本番を想定して歌いました。

休憩をはさんで、千秋さんの創作曲「戦争は知らない」が披露され、みんなで声を合わせました。

引き続き、本並先生の指揮で、「母なるヴォルガを下りて」を久しぶりに歌いました。13回コンサートのロシアの歌。まず、門さんのピアノ伴奏を聴きながら、各パートしっかりと声を出す、正しい音程で、リズム・テンポを合わせて、歌いました。「赤軍アンサンブル」のような声で！タテの声で！これからが楽しみな合唱曲です。

最後に、全員立って、本番を想定して、本並先生の指揮で「日々草」と、伊藤副指揮者の指揮で、「U Boj!」を続けて合唱し(6分25秒!)、レッスンを終わりました。